

シーン - 9 自然の家ハイブリッド街路灯整備事業

事業目的

屋外宿泊体験などをはじめとする自然体験を行う自然の家(蔵王・志津川)に、太陽光・風力を利用したハイブリッド街路灯を設置し、自然エネルギーの有効活用に触れる機会や最先端技術の学習機会を創出し、環境立県を支える人材を育成します。

事業効果

CO2削減効果	0.67t - CO2
その他	-

事業内容

県立2自然の家のキャンプサイト等にハイブリッド街路灯を設置し、自然エネルギーの有効活用と省エネ効果を可視的に表示し、環境問題についての意識を啓蒙します。

【平成25年度の事業費】 5,710千円

【平成25年度の事業量】 蔵王自然の家 2基

ハイブリッドとは、2つ以上の異質なものを組み合わせることにより、より良くなることをいいます。ここでは、太陽光と風力という2つの自然エネルギーをより効果的に活用とするものです。



現状

商用電力からの電力供給による照明に伴う、二酸化炭素の排出



税導入後のイメージ

太陽光・風力の自然エネルギーを活用した照明による二酸化炭素排出抑制
環境問題への意識啓発

